

令和6年度 技術・家庭〔技術分野〕 <第2学年> 年間指導計画と評価規準

技術・家庭 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

第2学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能 思は、思考・判断・表現 主は、主体的に学習に取り組む態度

月	内容	単元名	指導内容	評価規準	評価方法
4	B	1-1 生活や社会と生物育成の技術 (p96-99)	①生活や社会を支える生物育成の技術 ②身の回りにおける生物育成の技術	知	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、生物育成の技術が最適化されてきたことに気付くことができる。 ・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
				思	
5	生物育成の技術	1-2 さまざまな生物育成の技術 (p100-113)	①作物の栽培技術 ②動物の飼育技術 ③水産生物の栽培技術 ④森林の育成技術	知	<ul style="list-style-type: none"> ・作物、動物及び水産生物の成長、生態などについての科学的な原理・法則を説明できる。 ・生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。
				思	
6	C	1-1 生活や社会とエネルギー変換の技術 (p142-145)	①生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ②身の回りにおけるエネルギー変換の技術	知	<ul style="list-style-type: none"> ・防災用品に込められたエネルギー変換の技術に関する工夫を読み取り、エネルギー変換の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ・進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
				思	
	エネルギー変換の技	1-2 エネルギー資源の利用 (p146-153)	①エネルギーの利用 ②燃料を利用した技術 ③発電と送電のしくみ ④エネルギー変換効率と省エネルギー	知	<ul style="list-style-type: none"> ・自然界にあるエネルギー源が変換され利用されることや、熱機関の仕組みを説明できる。 ・自然界にあるエネルギー源から電気エネルギーへの変換方法と安定した電力供給の仕組みを説明できる。 ・算出した変換効率に基づき、エネルギー変換、効率及び損失の意味や省エネルギーの重要性を説明できる。
				思	

